

# まがいたお

武蔵村山市

No.216

市の鳥 メジロ



市の花 茶の花

発行／武蔵村山市議会 〒 208-8501 武蔵村山市本町一丁目1番地の1 ☎ 042-565-1111

武蔵村山市議会 検索

ホームページ <https://www.city.musashimurayama.lg.jp/shisei/shigikai/index.html>  
メールアドレス [gikai@city.musashimurayama.lg.jp](mailto:gikai@city.musashimurayama.lg.jp)



## 令和3年 第1回定例会



# 令和3年度 各会計予算を可決

### 可決された令和3年度会計別当初予算

会計名	令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	比較
一般会計	286億2,020万6千円	291億5,449万2千円	△ 1.8%
特別会計	157億8,411万7千円	159億1,327万円	△ 0.8%
国民健康保険事業	75億2,732万5千円	78億7,185万5千円	△ 4.4%
介護保険	52億5,214万9千円	50億4,931万8千円	4.0%
都市核地区土地区画整理事業	13億5,580万3千円	13億8,629万3千円	△ 2.2%
後期高齢者医療	16億4,884万円	16億580万4千円	2.7%
公営企業会計	10億9,305万7千円	12億7,822万8千円	△ 14.5%
下水道事業会計※	10億9,305万7千円	12億7,822万8千円	△ 14.5%
合計	454億9,738万円	463億4,599万円	△ 1.8%

※下水道事業会計の予算額は、「総費用（下水道事業費用）-減価償却費+資本的支出」による。

### 第1回定例会の概要

令和3年第1回定例会は、市長の逝去に伴い、2月26日から3月12日までの会期15日間に短縮して開催されました。

今定例会では一般質問は行わず、本会議と予算特別委員会の他、常任委員会等の開催とし、市長提出議案32件、委員会提出議案2件、その他6件、陳情10件が審議・審査されました。

### 議会日誌

22日(金)	会派代表者会議
20日(水)	進協議会第1委員会正副委員長会議※
14日(木)	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会※
5日(火)	議会報編集委員会
5日(火)	議会報編集委員会

25日(月)	東京たま広域資源循環組合議会
26日(火)	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会※
28日(木)	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会※
28日(木)	東京都後期高齢者医療広域連合議会全員協議会及び定例会
1日(月)	瑞穂斎場組合議会定例会
5日(金)	会派代表者会議
8日(月)	第59回東京都市議会議員研修会※
9日(火)	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会※
15日(月)	湖南衛生組合議会定例会
17日(水)	小平・村山・大和衛生組合議会定例会
19日(金)	会派代表者会議
22日(月)	東京たま広域資源循環組合議会定例会及び全員協議会
26日(金)	第1回市議会定例会本会議(初日)
1日(月)	本会議
3日(水)	予算特別委員会
4日(木)	交通対策特別委員会
5日(金)	予算特別委員会
8日(月)	予算特別委員会
10日(水)	厚生産業委員会
11日(木)	建設環境委員会
12日(金)	総務文教委員会
12日(金)	会派代表者会議
12日(金)	第1回市議会定例会本会議(最終日)
〃	議会運営委員会
〃	総務文教委員会

### 討論(要旨)

令和3年度各会計予算は2月26日市長から提案されました。議会は委員19人で構成する予算特別委員会(遠藤政雄委員長)に付託し、3月3日、4日、5日、8日の4日間の審査を経て、3月12日の本会議で原案どおり可決されました。その際、議会の採決に先立って行われた一般会計予算についての討論の要旨をお知らせします。

### 反対討論

渡邊 一雄  
(日本共産党)

共産党市議団を代表して2021年度予算案の反対討論を行う。

今予算特別委員会は、前例のない異例づくしの委員会となった。藤野市長の急逝という予期せぬ事態があったとしても、骨格予算編成の検討すらしていないことが明らかになった。さらに、市長の職務代理者に指名された副市長は、予算審議の前に自己都合で突然辞任した。予算を成立させることは、行政を預かるものの最大の任務であるにもかかわらず、その任務を投げ捨てたことは、前代未聞の出来事であり、責任放棄と言わざるを得ない。

監査によって厳しい指摘を受けたシルバー人材センター問題について不正が疑われている。真相が明らかになるまでは補助金などのあり方を直す必要がある。

市民生活や事業者の実態は、新型コロナウイルスの影響だけでなく、消費税増税によって疲弊している。税金は応能負担の原則で集め、市民の生活と生業を守るために使うべきである。

こうしたなか、来年度の国保税引き上げを行わず、一般会計からの法定外繰り入れを削減する財政健全化計画を1年先送りしたこと、そして

介護保険準備基金の取り崩し額を4億円としたことは評価できる。しかし、結果として介護保険料は値上げとなり、さらに来年10月からのごみ有料化を強行しようとしている。

市が行った家庭ごみ有料化と戸別収集に関するアンケート調査では、有料化反対が42・7%だった。反対理由のトップは経済的負担がかかると集積所でのトラブル解消を望む声に丁寧に対応しながら、より多くの市民と話し合いを重ね、根本的なごみ減量対策とするために有料化計画は延期が必要ではないか。

男女共同参画については、防災会議の女性割合が10%であることが明らかになった。条例改正も含めた実効性ある対応で女性割合を増やすことを求めて反対討論とする。

### 賛成討論

清水 彩子  
(新政会)

新政会を代表して、令和3年度武蔵村山市一般会計予算について、賛成の立場から討論する。

令和3年度の予算は、新型コロナウイルス感染症予防対策補助金が新たに計上された。新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市民や事業者への更なる支援を行うとともに、ワクチン接種についても市民の不安や疑問に対応し、速やかに接種を開始できるよう要望する。

令和3年度の一般会計の予算規模は、286億2020万6千円で、前年比マイナスイナス1・8%、特別会計を含めた全予算額は454億9738万円、前年比マイナスイナス1・8%である。

歳入については、新型コロナウイルス感染症の影響による雇用・所得環境の悪化などにより、前年度比4・7%減の98億7167万9千円となった。一方歳出では、多摩都市モノレールに関連した各種調査事業が計上されており、多摩都市モノレールの市内延伸の実現が、着実に進んでいることが実感できる予算となっている。

極めて慎重に予算編成した事が伺える中でも、令和3年度は、第五次長期総合計画の初年度として、新たな将来都市像の実現を目指し、SDGsのゴール達成に向けての取り組み、国土強靱化計画に位置付けられている施策も組み込まれ、市民生活がより安心できるようになる事が示されている。

公益社団法人武蔵村山市シルバー人材センターの事業執行について、改善すべき重要な事項が見受けられるため、令和3年度は、職員による管理、指導を強めるとともに、経費の執行に当たっては、その改善状況により適切に行うことを求める。

厳しい状況の中でも、10年先を考えた予算編成となっており、評価できる。これからも、逝去された藤野勝市長の思いを継ぎ、市民の悲願で

ある多摩都市モノレールの市内早期延伸を、一日でも早く実現できるように要望し、賛成討論とする。

高橋 弘志  
(公明党)

令和3年度武蔵村山市一般会計予算につきまして、公明党市議団を代表し、賛成の立場から討論する。

令和3年度の一般会計の予算規模は、対前年度比1・8%減の約286億円である。

少子高齢化はもとより、新型コロナウイルス感染症の影響等により、経済情勢は景気の動向を初め、さまざまな要因により不透明、不確実な情勢であり、市財政としても依然として厳しい状況の中、全体的に慎重かつ堅実な予算配分になっていると思う。

主な事業としては、多摩都市モノレールの市内延伸に関する更なる取り組み、近年多発している豪雨災害や大規模地震などの自然災害への備え、また、本市の未来を担う子どもや子育て家庭への支援など、喫緊の課題に的確に対処され取り組まれている。

尚、今議会において、シルバー人材センターの監査報告があり、不適正な事務処理、不明瞭な報酬、資料提示に対しての不誠実な対応等が指摘され、事業内容全般に疑いを持たれる内容となっている。元氣な高齢者にとつての生活の支えとなり、社会との関わりを続けられる、高齢化社会にとつて、大変重要なセンターでこのような実態が明るみになったことは、大変残念でならない。今後、市として、指導と監視を強め、改善の状況を随時把握し、予算の執行に

関して慎重に行うよう求めるものである。

今後、コロナ禍という状況の中ではあるが、社会情勢や経済状況の変化に合わせて行政運営を展開し、限られた財源の中で創意工夫しながら事業を進め、希望を持てる魅力あふれる武蔵村山市にしていただくと、新市長誕生と共に期待をして、令和3年度武蔵村山市一般会計予算

に対しての賛成討論とする。

鈴木 明  
(立憲村山)

令和3年度武蔵村山市一般会計予算について、立憲村山を代表して、賛成の立場で討論を行う。

今回の予算審議は、議会開催前に藤野市長が急逝し、また、議会初日に市長の職務代理者である山崎副市長が一身上の都合で急遽辞職するといった異例の中で執り行われた。

施政方針も示されず、市長、副市長がいらない中で、政治判断を求める質問や政策転換を求める質問もできなかったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、市税等自主財源の大幅な落ち込みが予想される中でも、市民生活への影響をできる限り少なくした予算編成となったことは、一定の評価をする。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で市民の生活が苦しくなっている中で、以前から指摘している費用対効果が極めて低いと思われる緑が丘地区暫定経費や情報館運営経費等、予算の廃止ないし縮小すべき事業が散見されたことは残念でならない。

また、シルバー人材センター経費に至っては、不適切な事務管理が定期監査の指摘で明らかになり、市監査委員等への不誠実な態度や対応は議会としても見過ごす訳にはいかない。

人件費を含む補助金のあり方だけではなく、毎年一時的にでも資金ショートをするような資金繰りをしていく財務体質の改善も必要と考えられるため、運営資金貸付金についても今後は見直しをしていくべきと考える。新型コロナウイルス感染症の終息も先がまだ見えず、この先数年は市民の生活が苦しくなることが想定される。市民が納得できるように正しい税金の使い方が問われる。

新しい市長が誕生した暁には、ぜひ議会からの指摘や提言をしっかりと受け止めて、市民の福祉の向上に

より一層努めていただくことを要望し、賛成討論とする。

天目石 要一郎  
(清流)

今まで何度も、「毎年同じ入札案件が、同じ業者に、ほぼ同じ金額で、時には入札の順位まで一緒で落札されていることが多数見られる。出来レースではないか?」と指摘してきた。

そこで、予算審議にあたり、落札率90%以上と95%以上の入札件数の割合についてまとめてもらった。予定価格を全面公開している工事の入札では平均落札率が86・84%なのに、予定価格の一部を除き公開していない物品の入札では平均落札率が93・71%だった。ブラックボックスとなっている物品の方が平均落札率が明らかに高かった。ただ、入札経過調査を子細にチェックすると、以前より談合が疑われる入札は減ってきているようである。担当者の厳しい姿勢の成果だと思ふ。

しかし、落札率が95%以上は談合の疑いが強いと言われる中、物品の平均落札率が93・71%というのは、まだまだ疑惑の入札だらけともいえない。だが、予定価格が全面公開されていない為、どの入札が疑わしいのかさえわからない。

これまで、何度も指摘しているが、入札での予定価格の全面公開をするべきである。予定価格の全面公開すれば、緊張感が生まれ、適切な競争原理が働くようになる。その結果、限られた予算を、市民サービスの充実のために活用できるようにする。

加えて、近隣の自治体での予定価格の公表状況も調査してもらった。談合事件発覚以降、入札改革を行った立川市など、多くの自治体が入札での予定価格を全面公開していた。クリーンな行政運営のために、近隣自治体を見習うべきである。

また、今回、監査委員の報告で、シルバー人材センターの不透明な運営実態が指摘された。私も直接、シルバー人材センターの関係者から話を聞いたところ、報告書の指摘以外に、根深い問題が多々あるように感じる。しっかりと真相を究明し、根深い問題を改善する必要がある。

市民から、信頼される行政運営を要望し、賛成討論とする。



木村 祐子 (市民のチカラ)

未だ続く、新型コロナウイルス感染症対策に、市民生活も行政運営も急激な変化を余儀なくされた。市税収入を中心とした一般財源の減少が懸念されるなか、今年度より1.8%減で組まれた今回の予算は、市民サービスを低下させないよう配慮したものになっている。

大きな一歩を踏み出した多摩都市モノレールの市内延伸に向け、各種交通施設の調査検討費用である都市計画事業推進経費の計上は、厳しい状況であろうと進めなければならぬ施策のひとつとして、市民の夢の実現に向けたものであり、都市核地区土地区画整理事業も新たなまちの姿が見えつつある現状で、さらに全力で進めていただきたい。

また、とうきょうママパパ応援事業による家事育児サポート研修や養成、多胎児家庭サポート事業及びタクシー移動経費の助成は、市民からの要望を実現した新たな取り組みであり、これまで地域でサポートをやりくりできなかった状況の打開と、子育て中の方にとっては、大きな後押しになる。

コロナ禍で急速に進んだGIGAスクール構想や行政手続きのオンライン化など、これまで遅れていたICT化は、新たな生活様式への対応と市民の利便性向上に向け、進み始めた。

最後に、今議会で検討された第五次長期総合計画の前期基本計画で、「市民との協働による地域振興」が大きく掲げられている。この時局を乗り切るためにも、市民との徹底した情報共有と、様々な場面での市民参加で、協働によるまちづくりが不可欠である。取り組み方や意思決定の方法などの研究も含め、前進させていきたい。

地域コミュニティの活性化は、藤野市長の目指されたことでもあり、新市長にも、市民参加と協働の歩を止めないよう心からお願ひし、賛成の討論とする。

# 議 可 決 し た 案

## 第1回定例会

### 条 例

▼武蔵村山市基本構想について  
武蔵村山市における総合的かつ計画的な行政運営を図るための基本構想を新たに定めるもの。

▼武蔵村山市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例  
地方自治法第243条の2第1項の規定に基づき、市長等の市に対する損害賠償責任の一部免責について定めるもの。

▼武蔵村山市新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金基金条例  
東京都市町村新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金を財源として、新型コロナウイルス感染症対策等に要する経費に充てるため、基金を設置するもの。

▼武蔵村山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例  
個人番号を利用する事務の名称を改めるもの。

▼武蔵村山市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
交通機関を利用し、又は自転車等を使用しなければ通勤することが著しく困難である職員の通勤手当の額を改定するもの。

▼武蔵村山市立学校施設使用条例の一部を改正する条例  
武蔵村山市立学校の屋内運動場の空調設備について、使用料を定めるもの。

▼武蔵村山市児童遊園条例の一部を改正する条例  
児童の健全な遊びの用に供する施設の充実を図るため、新たに三ツ木五丁目児童遊園を設置するもの。

▼武蔵村山市営住宅条例の一部を改正する条例  
武蔵村山市営本町住宅を廃止するもの。

▼武蔵村山市国民健康保険税賦課徴収条例の一部を改正する条例  
地方税法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、国民健康保険税の軽減基準を改めるもの。

▼武蔵村山市介護保険条例の一部を改正する条例  
令和3年度から令和5年度までの各年度における介護保険の保険料率を定めるとともに、介護保険法施行令の一部改正に伴い、保険料率の算定に関する基準の特例を定めるもの。

▼武蔵村山市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例  
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、業務継続計画の策定等、感染症の予防及びまん延の防止のための措置、虐待の防止、認知症に係る基礎的な研修の受講、栄養管理、口腔衛生の管理等について定めるとともに、併せて規定を整備するもの。

▼武蔵村山市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のたのめ効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例  
指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のたのめ効果的な支援の方法に関する基準の一部改正に伴い、業務継続計画の策定等、感染症の予防及びまん延の防止のための措置、虐待の防止並びに認知症に係る基礎的な研修の受講に関する措置等について定めるもの。

▼武蔵村山市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のたのめ効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例  
指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のたのめ効果的な支援の方法に関する基準の一部改正に伴い、業務継続計画の策定等、感染症の予防及びまん延の防止のための措置、虐待の防止並びに認知症に係る基礎的な研修の受講に関する措置等について定めるもの。

▼武蔵村山市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例  
指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準の一部改正に伴い、業務継続計画の策定等、感染症の予防及びまん延の防止のための措置並びに虐待の防止等について定めるもの。

置、虐待の防止並びに認知症に係る基礎的な研修の受講に関する措置等について定めるもの。

▼武蔵村山市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のたのめ効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例  
指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のたのめ効果的な支援の方法に関する基準の一部改正に伴い、業務継続計画の策定等、感染症の予防及びまん延の防止のための措置並びに虐待の防止等について定めるもの。

▼武蔵村山市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例  
指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準の一部改正に伴い、業務継続計画の策定等、感染症の予防及びまん延の防止のための措置並びに虐待の防止等について定めるもの。

▼武蔵村山市が管理する道路の構造の技術的基準に関する条例の一部を改正する条例  
道路構造令の一部改正に伴い、自転車通行帯及び歩行者利便増進道路の設置について定めるもの。

▼令和3年度武蔵村山市各会計予算  
(1)一般会計予算  
(2)国民健康保険事業特別会計予算  
(3)介護保険特別会計予算  
(4)都市核地区土地区画整理事業特別会計予算  
(5)後期高齢者医療特別会計予算  
(6)下水道事業会計予算

▼令和2年度武蔵村山市一般会計補正予算(第10号)  
補正額7億3210万円を減額し、歳入歳出予算の総額を385億7521万9千円などとするもの。  
▼令和2年度武蔵村山市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)  
補正額2億8755万1千円を減額し、歳入歳出予算の総額を77億194万3千円とするもの。  
▼令和2年度武蔵村山市介護保険特別会計補正予算(第3号)  
補正額1812万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を51億9358万1千円とするもの。  
▼令和2年度武蔵村山市都市核地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)  
補正額2210万7千円を減額し、歳入歳出予算の総額を13億8450万8千円などとするもの。  
▼令和2年度武蔵村山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)  
補正額2769万3千円を減額し、歳入歳出予算の総額を16億2378万3千円とするもの。  
▼令和2年度武蔵村山市一般会計補正予算(第11号)  
補正額3億6013万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を389億3535万2千円などとするもの。

### 専 決 処 分

▼専決処分の承認を求めることについて  
(1)令和2年度武蔵村山市一般会計補正予算(第8号)  
新型コロナウイルスワクチンの接種に必要な体制を整備するため、緊急に予算措置を講ずるもののであり、補正額1億1448万円を追加し、歳入歳出予算の総額を392億7561万6千円などとする専決処分の承認を求めらるもの。  
(2)令和2年度武蔵村山市一般会計補正予算(第9号)  
令和3年2月3日に武蔵村山市長が死去したことに伴い、市長選挙費について緊急に予算措置を講ずるものであり、補正額3170万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を393億731万9千円とする専決処分の承認を求めらるもの。

▼専決処分の報告について  
物損事故による損害賠償の額の決定及び和解について  
物損事故に関して、市が支払うべき損害賠償額(19万7千490円)の決定及び和解に係る専決処分を報告するもの。

### 道 路

▼市道路線の認定について  
空堀川拡幅整備事業の実施に伴い、市道路線として認定するもの。  
▼市道路線の認定について  
開発行為に伴い市に帰属した道路を市道路線として認定するもの。

### 人 事

▼教育委員会教育長の任命について  
任期満了に伴い、池谷光二氏を任命するもの。  
▼人権擁護委員の推薦について  
任期満了に伴い、小峯喜美恵氏を推薦するもの。  
▼人権擁護委員の推薦について  
任期満了に伴い、島田妙美氏を推薦するもの。

なお、各会計の予算額については、1面に掲載しています。



報告

武蔵村山市第五次障害者計画・第六期障害福祉計画・第二期障害児福祉計画について

武蔵村山市第五次障害者計画・第六期障害福祉計画・第二期障害児福祉計画の策定について、障害者基本法の規定により報告された。

決議

この定例会で、次のとおり決議1件を可決しました。

令和3年度武蔵村山市一般会計予算に対する附帯決議

陳情の審議結果

この定例会における陳情の審議結果は、次のとおりです。

不採択となったもの

建設環境委員会

伊奈平公園等のトイレの温水洗浄便座を実現して下さい

「つむぎ保育園」通りに防犯カメラを設置して下さいよう陳情いたします

総務文教委員会

公立学校に「1年単位の変形労働時間制」を導入しないよう求める陳情

自衛隊の医療部隊増強について意見書を国に提出することに関する陳情

「国民万歳条例」の制定を求める陳情

継続審査となったもの

厚生産業委員会

安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書に関する陳情

総務文教委員会

地域的な包括的経済連携(RCEP)協定からの撤回を求める意見書提出を求める陳情

「地域的な包括的経済連携(RCEP)を承認しないことを求める意見書提出」を求める陳情



追悼 故藤野勝市長

去る2月3日、藤野勝市長が逝去されました。藤野市長は、平成19年5月に武蔵村山市議会議員に初当選され、3年間在職された後、平成22年5月からは市長として10年8か月にわたり活躍されました。生前、市政に尽くされたご功績を称え、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

武蔵村山市議会

意見の分かれた議案等

○：賛成 ×：反対 □：欠席

Table with columns: 案件, 会派 (新国会, 公明党, 日本共産党, 立憲山, 市民のチカラ, 清流), 議決結果. Rows include various council proposals and motions.

※ ( ) は、会派所属議員数です。ただし、公明党については、議長を除いた人数です。(注1)の内訳は、反対1、欠席2 (注2)の内訳は、賛成1、欠席2

会議録をご覧ください

議会だよりは、紙面の都合により発言の一部や要旨のみを掲載しています。詳細は、会議録をご覧ください。会議録は、ホームページで検索するか、市内の各図書館や市役所1階の市政情報コーナーのほか、5階の議会事務局に備えてあります。なお、会議録は議会閉会后、おおむね2か月後の発行となります。

議会中継動画をご覧ください

市議会では、本会議と予算特別委員会の模様をインターネットで録画配信を行っています。動画は、会議当日の約一週間後から見ることが出来ます。ぜひ、市議会ホームページからご覧ください。

声の議会だより

目の不自由な方等に「声の議会だより」(デージー規格のCD)をお届けしています。ご家族やお知り合いでご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

武蔵村山市議会事務局 042(565)1111 内線512 ファックス番号 042(564)0788

議長の行事ピックアップ



議長 沖野 清子

- 1月 東京都三多摩地区消防連 営協議会役員会
2月 全国市議会議長会基地協 議会正副会長・監事・相談役会
2日(火) 全国市議会議長会基地協 議会第99回理事会
12日(金) 東京都市議会議長会理事会 東京都三多摩地区消防連 営協議会第二部会
17日(水) 東京都市議会議長会定例 総会

次の市議会定例会(令和3年第2回)は6月上旬に開会の予定です。

【市議会の傍聴について】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、傍聴の自粛をお願いしておりますが、希望される場合は、マスクの着用などの御協力をお願いいたします。今後の状況次第で、対応がかわる場合もございますのでご了承ください。受付は、議会事務局(市役所5階)へお越しください。 ※車椅子での傍聴もできます。(障害者用トイレも設置されています) ※会議は、通常午前9時30分から始まります。

- (議会報編集委員) 石黒照久 清水彩子 宮崎正巳 天目石要一郎 鈴木明 木村祐子 渡邊一雄 前田善信 (○は委員長 ○は副委員長)